

技術情報

J A 全農やまぐち

TAC 営農推進課
(083-988-0681)

平成24年5月9日発行
第155号

麦類赤かび病の防除の徹底について

麦類赤かび病について、8日付で山口県病害虫防除所から技術情報第1号（麦類赤かび病の発生と防除対策 ～3回の防除を徹底しましょう～）が発表され、やや多の発生が予想されています。

つきましては、技術資料第1号及び下記を参考に防除の徹底をご指導願います。

記

1 防除時期発

(1) 2回目：1回目の防除後7～10日頃

1回目の防除を実施していない圃場は早急に防除してください。

(2) 3回目：2回目の防除後7～10日頃

ただし、発生を確認したら直ちに防除してください。

2 防除薬剤及び使用方法

病害虫防除所技術資料第1号を参照し、麦種ごとの登録内容を確認の上、適正に散布してください。

3 防除上の留意事項

不順天候が続く場合には雨間散布を実施してください。以下、技術情報再掲。

- ・ 雨間散布における降雨の影響については、トップジンM剤を使った試験例では水和剤は散布後30分以降の降雨ならば防除効果の低下は問題にならず、粉剤は弱い雨が2～3時間程度ならば再散布は必要ないが、強い雨が合った場合は直ちに他の薬剤を再散布する必要があると報告されています。
- ・ 一般に水和剤、フロアブル剤やゾル剤などの液剤が粉剤に比べ効果が優れます。

平成24年(2012年)5月8日
山口県病虫害防除所

麦類赤かび病の発生と防除対策 ～3回の防除を徹底しましょう～

1 発生状況

5月2日に山口市の二条大麦で、赤かび病の発生が認められた。平年に比べ早い発生であった(平年初発生日:5月15日)。

2 今後の予想

- (1) 対象地域 県内全域
- (2) 発生量 やや多
- (3) 予想内容

4月下旬からの高温・多雨により発生が早まった。また、今後1か月の気象予報では気温は高いと予想されており、本病原菌の感染・増殖に好適な温度条件が続くため、発生量はやや多いと予想される。

3 防除対策

- (1) 3回の薬剤防除を徹底する(表1、表2参照)。
- (2) ほ場周辺の枯れ草やわらは伝染源となるので除去する。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 収穫前日数を考慮した薬剤による防除を実施する。
- (2) 防除を行う際には、周辺の野菜や収穫直前的大麦に農薬が飛散しないように注意する。



発病穂(右)



発病穂(拡大)

表1 ムギ類赤かび病の主要防除薬剤(平成24年5月7日現在)

| 大グループ名 | 作物名 | 薬剤名 | 農薬使用基準 | | | | |
|----------|-------|-------------|------------|-----------|-------------------|---------------|---|
| | | | 使用濃度 | 10a当たり使用量 | 使用時期(収穫前日数) | 使用回数 | 成分含む総使用回数 |
| 麦類 | — | トリフィン水和剤 | 1000~2000倍 | — | 14 | 3 | 3(種子粉衣は1回以内) |
| 麦類 | — | 石灰硫黄合剤 | 50~60倍 | — | — | — | — |
| 麦類 | — | サルファール | 400倍 | — | — | — | — |
| 麦類 | — | ワークアップ粉剤DL | — | 3kg | 14 | 2 | 2 |
| 麦類 | — | トップジンM粉剤DL | — | 4kg | 14 | 3(出穂期以降は1回以内) | 3(但し、種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内) |
| 麦類(小麦除く) | — | トップジンM水和剤 | 1000~1500倍 | 60~150L | 30 | 3 | 3 |
| 麦類(小麦除く) | — | ストロビ・フロアブル | 2000~3000倍 | 60~150L | 14 | 3 | 3 |
| — | 小麦 | ストロビ・フロアブル | 2000~3000倍 | 60~150L | 14 | 3 | 3 |
| 麦類(大麦除く) | — | ワークアップフロアブル | 2000倍 | 60~150L | 14 | 2 | 2 |
| — | 大麦 | ワークアップフロアブル | 2000倍 | 60~150L | 14 | 2 | 2 |
| — | 小麦・大麦 | チルト乳剤25 | 1000~2000倍 | 60~150L | (小麦) 3 | 3 | 5(根雪前は2回以内、春期以降は3回以内) |
| — | 小麦・大麦 | シルバキユアフロアブル | 2000倍 | 60~150L | (大麦) 21 (小麦) 7 | 1 | 1 |
| — | 小麦・大麦 | シルバキユアフロアブル | 2000倍 | 60~150L | (小麦) 7 | 2 | 3(根雪前は1回以内、融雪後は2回以内) |
| — | 小麦 | ヘルコート水和剤 | 1000~2000倍 | 60~180L | 21 | 3(出穂期以降は1回以内) | 4(種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内) |
| — | 小麦 | トップジンM粉剤DL | — | 4kg | 14 | 3(出穂期以降は1回以内) | 4(但し種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内) |
| — | 小麦 | トップジンM水和剤 | 1000~1500倍 | 60~150L | 14 | 3(出穂期以降は2回以内) | 4(但し種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内) |

表2 無人ヘリコプター用のムギ類赤かび病の主要防除薬剤(平成24年5月7日現在)

| 大グループ名 | 作物名 | 薬剤名 | 農薬使用基準 | | | | |
|----------|-------|-------------|--------|-----------|---------------|---------------|---|
| | | | 使用濃度 | 10a当たり使用量 | 使用時期(収穫前日数) | 使用回数 | 成分含む総使用回数 |
| — | 小麦・大麦 | チルト乳剤25 | 8倍 | 0.8L | 小麦 7 | 3 | 5(根雪前は2回以内、春期以降は3回以内) |
| — | 小麦・大麦 | シルバキユアフロアブル | 16倍 | 0.8L | 大麦 21 小麦 7 | 1 | 1 |
| — | 小麦・大麦 | シルバキユアフロアブル | 16倍 | 0.8L | 小麦 7 | 2 | 3(根雪前は1回以内、融雪後は2回以内) |
| 麦類(小麦除く) | — | トップジンMゾル | 8倍 | 0.8L | 21 | 2 | 2 |
| — | 小麦 | トップジンMゾル | 8倍 | 0.8L | 21 | 3(出穂期以降は1回以内) | 3(但し種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内) |
| — | 小麦 | トップジンMゾル | 8倍 | 0.8L | 14 | 3(出穂期以降は2回以内) | 4(但し種子への処理は1回以内、散布及び無人ヘリ散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内) |